

## 地域における金融リテラシーの向上（2018年度実績）

### <金融教育>

#### ・中学校・高等学校を対象に金融経済教育「出前授業」を実施（北陸銀行）

10月～3月、北陸銀行奨学助成財団では、教育備品の寄贈事業において、寄贈と同時期に寄贈対象校となる中学校および高等学校の生徒に対して、寄贈を担当する営業店の支店長が講師となり、金融リテラシーの向上を目的として金融経済教育「出前授業」を実施しました。また、その他希望のあった学校に対しても実施し、のべ17校1,002名の生徒が受講しました。



#### ・「北海道学生研究会SCAN合同研究発表会」の開催（北海道銀行）

11月、大学生が北海道の地域活性化について日頃のゼミ活動の研究成果を発表する場として北海道学生研究会SCANおよび(株)北海道新聞社と共同で「北海道学生研究会SCAN合同研究発表会」を開催しました。北海道学生研究会SCANは、若い発想力や知恵を生かして地域活性化に貢献することを目的として発足した学生中心の組織であり、今回は初めての試みとして高校生チームも参加しました。

#### ・「鷹栖版 ヨノナカテラス」の実施（北海道銀行）

12月、旭川工業高等専門学校および鷹栖町との連携協定の一環として、高専生が鷹栖町内企業とともに成長戦略づくりを検討・創造していく場「鷹栖版 ヨノナカテラス」を実施しました。

本事業により高専生に地域の魅力に気づいてもらい、若年層の地元就職率の向上へつなげるとともに、地方企業の課題解決を支援してまいります。



#### ・エコノミクス甲子園を開催（北陸銀行・北海道銀行）

高校生がクイズを楽しみながら金融・経済に関する知識を習得し、お金との関わり方やライフデザインを考えるきっかけとしてもらうことを目的に、毎年12月にエコノミクス甲子園を開催しています。

北陸銀行では富山大会、福井大会の運営を、北海道銀行では、地元の金融機関と共に北海道地区予選大会および北海道大会の運営を行いました。2月に行われた全国大会では、福井代表チームが見事に全国初優勝の快挙を成し遂げました。



### <資産形成・承継支援>

#### ・信託業務の兼営の認可取得と取り扱い（北陸銀行）

3月、信託業務の兼営の認可を取得しました。高齢化社会が進行する中、お客さまの資産承継ニーズは年々高まっています。これまで信託代理店20部店をベースに信託銀行や信託会社に取り次ぐことで、信託サービスを提供していましたが、遺言信託や遺産整理の相談が一段と増加してきた状況を踏まえ、銀行本体として信託サービスの提供を開始することを決定しました。

信託チーム(リテール推進部)を設置し、専門人員が中心となって「遺言代用信託」「遺言信託」「遺産整理」の取り扱いを4月から開始しました。お客さまの資産管理・承継ニーズにワンストップでお応えし、将来にわたり安心してお取引いただける体制を整えてまいります。